

8 ソフトウェアのアップデート

本装置のソフトウェアの更新またはアップデートには、import upgradeコマンドを使用します。ソフトウェアをアップデートした場合、電子証明書、すべての鍵、電子証明書、マッピングを含む設定情報は保存されますが、ログファイルはすべて消去されます。ソフトウェアのファイルは、イメージファイル(*.IMG)です。
パッチを現行のソフトウェア・リリースにインストールするには、import patchコマンドを使用します。一般にパッチは、ソフトウェアの小さな問題に対処するために使用されます。

Windowsハイパーターミナルの使用方法

コマンド：**import upgrade**

伝送速度を大きくするには、本体のAux Consoleポート(デフォルトの伝送速度は115.2 kbps)を使用します。

1. イメージファイル(.IMG)をローカルのPCにダウンロードします。
2. COM1またはCOM2と、本体のAux consoleポートをシリアルケーブルで接続します。
3. システムにログインします。
4. import upgradeコマンドを入力します。xmodemまたはuuencodeの選択を求めるプロンプトが表示されます。Enterを押して、デフォルト(xmodem)を選択します。

```
Intel 7110> import upgrade
Import protocol: (xmodem, uudecode)
[xmodem]: <Enter>
Start xmodem upload now
Use Ctl-X to cancel upload
```

5. ハイパーターミナルの転送メニューのファイルの送信をクリックし、ファイルを選択します。ファイル名は、直接入力するか、参照をクリックして検索します。次に、プロトコルフィールドをクリックして転送プロトコルとしてXmodem(ないしは1K Xmodem)を選択し、送信をクリックします。

```
Verifying upgrade image...
Upgrade image valid
===  Release x.x
===  Load xx, Fri Aug 25 05:31:51 2000
```

6. Continue with upgrade?というプロンプトが表示されたら、yを押します。

重要

正しくアップデートが完了すると、保存されているログがすべて削除され、システムが再起動します。

```
Continue with upgrade? [n]: y
Upgrading...
System rebooting...done
```

コマンド：**import patch**

伝送速度を大きくするには、本体のAux　Consoleポート(デフォルトの伝送速度は115.2kbps)を使用します。

1. パッチ・ファイル(.patch)をローカルのPCにダウンロードします。
2. COM1またはCOM2と、本体のAux Consoleポートをシリアルケーブルで接続します。
3. システムにログインします。
4. import patchコマンドを入力します。xmodemまたはuuencodeの選択を求めるプロンプトが表示されます。Enterを押してデフォルト(xmodem)を選択します。

```
Intel 7110> import patch
Import protocol: (xmodem, uudecode) [xmodem]: <Enter>
Start xmodem upload now
Use Ctl-X to cancel upload
```

5. ハイパーターミナルの転送メニューのファイルの送信をクリックし、ファイルを選択します。ファイル名は、直接入力するか、参照をクリックして検索します。次に、プロトコルフィールドをクリックして転送プロトコルとしてXmodem(または1K Xmodem)を選択し、送信をクリックします。

   Verifying patch image...
   Patch successfully imported.

このパッチは、次回システムを再起動したときに有効になります。万一、パッチのインポートに失敗した場合は、前回正常にインポートしたパッチが再び適用されます。

Unixのcuコマンドの使用方法とuuencodeしたイメージファイル

コマンド：**import upgrade**

1. イメージファイルをローカルのUnixマシンにダウンロードします。ここでは、nn.imgというイメージファイルをダウンロードするものとします。
2. ダウンロードしたイメージファイルをuuencodeします。

```
uuencode nn.img nn.img >nn.uu
```

3. 本体のAux consoleポートとUNIXマシンのシリアルポートをシリアルケーブルで接続します。
4. cuコマンドを実行してシステムに接続します。デバイス名は、使用しているオペレーティングシステムの種類によって異なります。

```
cu -l /dev/cuaa0 -s 115200
```

5. システムにログインします。
6. import upgradeコマンドを入力します。プロンプトが表示されたら、uまたはuudecodeと入力します。

```
Intel 7110>import upgrade
Import protocol: (xmodem, uudecode)
[xmodem]: u

Type or paste in data, end with ... alone on line.
```

7. 「~>」コマンドを使用して、uuencodeしたファイルを送信します。

```
~>nn.uu

Verifying upgrade image...
Upgrade image valid
===  Release x.x
===  Load xx, Fri Aug 25 05:31:51 2000
```

8. Continue with upgrade?というプロンプトが表示されたら、yを入力します。

> **重要**
>
> **正しくアップデートが完了すると、保存されているログがすべて削除され、システムが再起動します。**

```
Continue with upgrade? [n]: y
Upgrading...
System rebooting...done
```

コマンド：**import patch**

1. パッチ・ファイル(ファイル名はnn.patchと仮定します)をローカルのUNIX*マシンにダウンロードします。
2. パッチ・ファイルのエンコードを解除します。

```
uuencode nn.patch nn.patch >nn.uu
```

3. 本体のAuxiliary Consoleにシリアルケーブルを接続します。
4. 「cu」プログラムを使用して、システムに接続します(デバイス名は、ご使用のオペレーティング・システムによって異なります)。

```
cu -l /dev/cuaa0 -s 115200
```

5. システムにログインします。
6. import patchコマンドを入力します。プロンプト画面で、uまたはuudecodeと入力します。

```
Intel 7110>import patch
Import protocol: (xmodem, uudecode) [xmodem]: u
Type or paste in data, end with ... alone on line.
```

7. エンコードを解除したファイルを送信するには、~>コマンドを入力します。

```
~>nn.uu

Verifying patch image...
Patch successfully imported.
```